

1 学校教育目標
「元気あふれる学校」

2 学校経営ビジョン
目指す学校像 明るく活気に満ちた学校 創意工夫のある学校 地域・家庭と連携し、共に育てる学校 目指す教員像 研修に努め、実践・指導力のある教師 教育愛に満ち、使命感あふれる信頼される教師 目指す生徒像 常に学ぶ心を持ち、努力する生徒 思いやりの心を持ち、協力し合う生徒 たくましく、勇気と根性を持つ生徒

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
・開発的なかかわりを持ち、学力向上と不登校生徒をなくす。 ・雄飛学園構想のもとに3校PTAの連携を図る。	金泉授業の充実を図ってきた結果、学校評価の生徒アンケートでは「授業は分かりやすいか」「工夫した指導がなされているか」の項目に於いて、生徒から満足を得る結果であるが、まだまだ成績には反映できていないところがある。そこで本年は、さらに学力向上を目指した取り組みに力を入れたい。また、不登校生徒へのかかわりをグループロージャーを中心に、全職員で当たっていきたい。

5 総括表					
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	担当	具体的方策
学校運営	学校経営方針	・本年度の重点目標の周知	・教職員・生徒・保護者に周知する。認知度を80%以上にする。	教頭	・職員会議・生徒集会等で具体的にわかりやすく説明する。 ・保護者へは学校便り・PTA総会等で具体的にわかりやすく説明する。 ・学校パンフレットの配布をする。
	教職員の資質向上	・授業研究会の充実	・金泉授業を取り入れた各教科の授業研究会に取り組む。 ・「まなび合い」の授業を研究する。	教頭	・講師を招聘した授業研究会を充実させる。 ・研究授業を全員1度は実施する。
		・職員研修の充実	・服務規律及び職員の資質の向上を図る。 ・情報教育や特別支援教育等の研修会を充実させる。	・専門機関との連携により、講師を招聘する。 ・積極的に教育センター等の研修会に参加する。	
危機管理体制	・不審者対応や交通事故等のための組織作り	・危機管理マニュアルを更新し、組織として対応する。もとにした避難訓練や防犯訓練の実施。	教頭	・危機管理マニュアルを使った研修会を実施する。 ・危機管理マニュアルをもとにした避難訓練・防犯訓練の実施する。 ・危機管理マニュアルを目につくところに掲示する。	
教育活動	小中連携	・雄飛学園の充実	・9年間を見通した教育計画を作成する。	小中連携コーディネーター	・小中の系統性・連続性のある教科カリキュラム作成の小中合同研修会及び各種打合せを実施する。 ・出前授業を各教科1回は実施する。 ・小学校の授業参観をする。 ・生徒会・児童会の交流会を実施する。 ・夏季休業中に部活動体験を実施する。 ・生徒主体による中学校説明会を実施する。
	ひらかれた学校づくり	・異世代交流を生かした地域との交流の充実 ・教育情報の発信。	・地域行事やボランティアを通じた交流の充実を図る。 ・学校便りなどで、保護者や地域に向けた情報を発信する。 ・公民館行事との連携を図る。	教務	・公民館などを通して地域人材の活用をする。 ・学校の様子がわかる学校便りを作成し、公民館を通して全所帯に知らせる。 ・HPを随時更新する。 ・生徒会による地域への広報活動を推進する。
	学校事務	・予算の適切な執行	・光熱費の削減・消耗品の削減等に努める。 ・職員の環境ISOの徹底。	事務長・教頭	・リサイクル・リユース・リデュースに努める。 ・節水節電を呼びかける。 ・節電・節水のステッカーを見えるところに掲示する。
	学力向上	・TT・少人数指導による学力の向上 ・金泉授業の研究会の実施	・NRT、学力・学習状況調査の分析を行い、実態と本校の対応を公表する。 ・新しい指導法の研究に取り組むと共に授業研究会の実施する。	研究主任	・TTや少人数指導法の工夫をする。 ・ALTと担任による授業の充実。 ・漢字検定・英語検定等をすすめる。 ・選択授業の充実を図る。 ・勉強の仕方2009を全員に配布する。 ・研究授業を全員1度は行う。 ・先進的な授業研に参加する。
	心の教育	・道徳時間の充実 ・人権・同和教育の充実	・学校行事やボランティア行事を通して、道徳的心情を豊かにする。 ・ふれあい道徳授業を年2回は実施する。 ・道徳ノートの活用	道徳担当	・毎月のいじめ・命の日のお話タイムを全職員で実施する。 ・人権・同和教育発表会を開く。

	教育相談	・教育相談の充実	・スクールカウンセラーとの連携を図る。 ・不登校生徒「0」を目指す。	教育相談部会	・学期ごとの教育相談週間を実施する。 ・月1回の連絡会を実施し共通理解を図る。 ・グループローラーの充実を図る。
	生徒指導	・小中一体となった開発的生徒指導の充実。	・情報を共有化し、職員間の共通理解を図る。 ・指導の「0基準」を大切に、揃っていく生徒指導を充実させる。	生徒指導部会	・月1回の生徒指導協議会を開催する。 ・スクールカウンセラーとの連携を図る。 ・生徒理解に関する研修会を長期休業中に実施する。 ・朝の挨拶運動と下校指導を全職員で当てる。 ・新聞やニュース等の事件・事故等の活用し、朝の会・帰りの会で適時知らせる。
	進路指導	・進路指導の充実。	・学年に応じた進路学習の充実を図る。 ・望ましい勤労観や職業観を身につけさせる。	進路指導部会	・1年で職業調べを実施する。 ・2年で職場体験や先輩に学ぶ会を実施する。 ・3年で高校訪問、高校説明会を実施する。
は 共通 評価 項目、 は 独自 評価 項目	特別支援教育	・特別支援教育の充実。	・全職員が共通理解をはかり、指導の徹底を図る。	特別支援委員会	・特別支援に関わる研修会を長期休業中に実施する。 ・特別支援委員会を定期的にひらく。
	人権・同和教育	・人権尊重の意識高揚	・認め合う集団、いじめや差別を許さぬ集団づくり	人権・同和部会	・各学年、人権・同和の視点を位置づけた授業実践 ・毎月の「お話タイム」の実践 ・金立養護や施設との交流を通して、障害者の理解を深める。 ・生徒会による「いじめ追放宣言」を実施する。
	健康・体づくり	・健康な体作りの推進	・規則正しい生活とバランスのとれた食事に心掛けるようにさせる。 ・朝食の喫食率を90パーセント以上にする。 ・部活動加入率を90パーセント以上にする。	保体部会	・専門家による健康講話を実施する。 ・校医さんとの連絡会を持ち、指導を受けたことを保護者に知らせる。 ・朝食の喫食率調査を行い食育について、家庭科の教師と共に指導する。 ・健康診断の結果等を保健便り等で適宜知らせる。
	読書指導	・学校図書館の活性化と個人読書量の推進	・朝の読書タイムの充実	図書部会	・朝の読書タイムを週4回実施する。 ・毎月1回読書ボランティアによる読み語りの実施。 ・生徒会図書部による図書館祭りや図書館便りを充実させる。